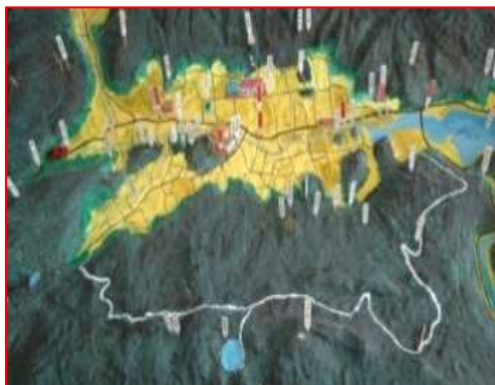


1の組

1～小田の上空より～



「鳥になって小田の上空…を飛んでみたい…」。鳥たちは、小田の郷…をこんなにふうに見えている…の难道う？

堤大池 (12の組) と柳峠池 (9の組) を源流とする小田川は、東に流れて白竜湖 (1の組) に注ぎ…棕梨川…沼田川…三原湾…瀬戸内海…大平洋の大海原へとつながる。

(25000分の1の模型 小田史跡調査会の作)

2～三本松～ 国道432



小田地区はここが中河内との境で 国道432より北側部分となる。

昔 甘露寺の山門に松が3本あり「三本松」と呼ばれるようになった。道沿いにキャンプ場がある。

3～木斛(モッコク)～ 国道432



国道432の深山峡…通称「三本松」の北側の山奥にある幻の「木斛」。会員が噂話を耳にしていた大木で「一度、お目にかかりたい…」の思いが叶って実現しその…太さに8人はびっくりした。成長しにくい樹木で…樹齢は千年に近いものだろう…か。

4～猿岩とトンネル～ 国道432



江戸後期の文人「頼山陽」はここを訪れて『安芸の耶馬溪』と称した。

深山峡 上部の溪谷に棕梨ダム建設でトンネルが掘られた。以前は川沿いに道路があったが建設後はトンネルを通るようになった。

「猿岩」とは 右上の三角に尖った所に猿が一匹座っているように見える。溪谷は春から初夏にかけての新緑・秋の紅葉と奇岩。

棕梨川の溪流は 景勝に値する見どころとなる。外に 姫が滝 深山速谷神社 棕梨ダム…がある。

5～深山速谷神社～ 国道432



深山道は 交通量の多い国道である。時代と共に車社会となり 交通事故も多発するようになってきた。交通安全を願い 小田地区の有志が発起人になり 寄付を募り 交通安全の神様で有名な廿日市市の「速谷神社」より昭和52年(1950)分神。毎年 大晦日を過ぎ 元日早々 祈願の神楽を奉納 1年の無事を祈る神事を司る。

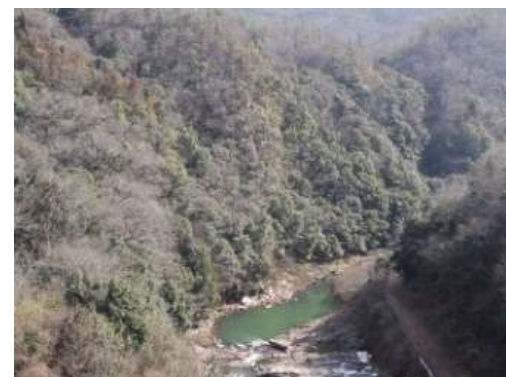
6～棕梨ダム堰堤～ 国道432



昭和44年3月(1969)完成。高さ39.5m 長さ213m ダム湖を一周すると11.0km 広さ37ha 工業用水・発電・灌漑用水などに利用。水道は 愛媛県弓削町まで海底ケーブル敷き 飲料水として送水している。

堰堤の中は 監視用に通路があつて時には 管理事務所の図らいで 見学が可能となることもある。

7～深山峡・断魚溪～ 国道432



棕梨ダム建設前は 直ぐ上を道路が通り 通称「魚切り(ようきり)」と呼んでいた。河床は 岩石が削られて大きな池となって 昭和30年代のプールのない時期は 子ども達の川泳ぎの 格好の場となっていた。



紅葉の深山峡に…是非…どうぞ…。

8 ～宮尾嘉作翁 頌徳碑～ 国道432
和木の人（小田2の組 戸田家に生まれる）



深山(国道432)に道をつけるため尽力した。当時の深山道は洪水のため道路が度々崩れたので私財を投げ売って全長12km 道幅4mの道路改修を行った。勿論、小田村 和木村など 近隣の村々からの寄付や工事に携わった 多くの人々の姿もあった…困難を極めた難工事だった。明治34年開通(8年の歳月)

9 ～白竜湖リゾート～ 三原市大和町箱川



27年前のオープン(昭和61年)。国道432に面し 白竜湖面を見渡せる風光明媚な所にあり お食事処 宿泊施設があり 多くの人々が訪れている。当所の箱川は 昭和30年までは小田地区と同じで豊田村小田であった。

10 ～見徳寺址～ 1の組



廃寺となっているが 宝篋印塔などの墓石が残っている。箱川地区の寺院として椋梨川を見下ろせる南斜面に位置している。松井家の裏にあつて現在は 白竜湖を見渡せ 四季折々の風光明媚な所である。

…見徳寺址から「白竜湖リゾート」を臨む。



…前を走る 道路は 国道432である。



11 ～白竜湖～ 1・2の組



夏…8月の午前10時40分頃の撮影



釣り雑誌やインターネットで紹介され 年間を通じて「ブラックバスの釣りファン」が 遠くは九州や 四国 関西方面からも訪れ 湖岸や釣りボートから 釣り糸を垂れている姿を見かけると 地元民は 嬉しくなる。



冬…2月12日17時20分 同場所撮影



日没は 小田の郷の西南の方向にある「柳峠」で 夕日の輝きが白竜湖に反射して美しい。



『四季折々の景色』を見せてくれる白竜湖は 実に 素晴らしい。



新椋梨川発電所(下河内)への取水口。